

## 厚木基地騒音対策協議会の要請について

### ■ 要請項目

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等について

- (1) 早期かつ着実に空母艦載機の移駐等を実施すること
- (2) 恒常的訓練施設を確保すること
- (3) 移駐実現までの間も、騒音問題の解決に積極的に取り組むこと

### ■ 要請先

内閣総理大臣	安倍 晋三
財務大臣	麻生 太郎
外務大臣	岸田 文雄
防衛大臣	稲田 朋美
駐日米国大使	キャロライン・ブービエ・ケネディ
在日米軍司令官	ジェリーP.マルティネス中将
第7艦隊司令官	ジョセフ・P・アーコイン中将
在日米海軍司令官	マシュー・J・カーター少将
厚木航空施設司令官	ジョン・F・ブッシー大佐
第5空母航空団司令官	ジョン・F・エンフィールド大佐

### ■ 要請結果概要

協議会会員等が、外務省、防衛省、及び駐日米国大使館で要請活動を実施（他は郵送等）

外務省 (藺浦 健太郎 外務副大臣)	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 外務省として、空母艦載機移駐に全力で取り組みたい。</li><li>○ 現在、厚木基地から岩国基地への移駐のスケジュールは日米間で協議中であり、今後、具体的なスケジュールも含め、詳細な説明をしていきたい。</li><li>○ 恒常的訓練施設に関しては、馬毛島について調整している状況にあるが、引き続き、全ての訓練が硫黄島で行われるよう米側に求めていく。</li><li>○ 米軍機の飛行ルートや飛行高度に対する自治体のご意見については、外務省としても米側に伝えていきたい。外務省としては、特に深夜の飛行について重視して申し入れている。</li></ul>
--------------------------	---

<p>防衛省 (若宮 健嗣 防衛副大臣)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空母艦載機の移駐については、施設整備を進めており、可能な限り早期、着実に進めるため努力する。移駐の時期や移駐後の運用については、日米協議を進展させ、一日も早く示せるよう努力したい。</li> <li>○ 訓練空域については、既存の自衛隊の空域を「岩国臨時留保空域」として設定することでおおむね調整が整った。</li> <li>○ 移駐後の騒音については、少なくとも移駐によりジェット戦闘機の運用が大幅に減ることから、軽減することは間違いない。</li> <li>○ 恒常的訓練施設については、馬毛島を候補地としており、地元の状況等に配慮しつつ、できるだけ早くお示ししたい。</li> <li>○ 米軍機の飛行ルートや飛行計画についても、得られた情報はできる限り提供に努めていきたい。</li> <li>○ 住宅防音工事については、引き続き、所要の予算を確保していきたい。</li> <li>○ 米軍機の飛行については、日米間で合意している厚木飛行場の騒音軽減措置の遵守、日曜祝日、年末年始、入試等の行事への配慮を累次の機会に米側に申し入れている。</li> </ul>
<p>駐日米国大使館 (ロバート・G・ ラプソン政務担 当公使)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 要請内容はケネディ大使に確実に伝える。</li> <li>○ 岩国基地への移駐は2017年頃を予定している。</li> <li>○ 日米同盟は日本の平和と安全、地域の安定に貢献している。その中で、米軍人は、生活の拠点である地元への影響を最小限に抑えるべく働いている。よき隣人となるよう努力している。</li> <li>○ NLP、FCLPの訓練施設の重要性について、定期的に日本政府に伝えるようにしている。</li> </ul>